

著書『ずぼらガーデニング』好評発売中♪

Amazonで見る▶

植えてはいけないグランドカバー8選！管理のコツを知って上手く付き合おう

■ 宿根草 2023-08-05

植えてはいけない グランドカバー

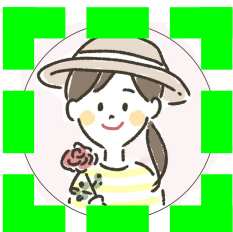
繁殖力が強すぎる…
管理のコツも

お庭を緑で覆ってオシャレに楽しむことができる[グランドカバー](#)。

見た目が良いだけでなく、丈夫で育ちやすく雑草対策にもなることでも人気があります。

しかし、中には「植えてはいけない」と言われるものもあるようです。

今回は、そんなグランドカバーについてご紹介します。



運営者
みゆき

ガーデニングコーディネーター

元植物を枯らすタイプ…。

コツをつかんだら、うまく育てられるように！



みゆ庭編集部

ずぼらガーデニングくらいがちょうどいい♪

- Instagramフォロワー9.1万人のお花の専門家
- 著書「ずぼらガーデニング」

☰ 目次

1 | 植えてはいけないグランドカバー8選

- 1-1 | ヒメイワダレソウ
- 1-2 | ワイヤープランツ
- 1-3 | クローバー
- 1-4 | ミント
- 1-5 | グレコマ
- 1-6 | ツルニチニチソウ
- 1-7 | ポリゴナム (ヒメツルソバ)
- 1-8 | アイビー (ヘデラ)

2 | まとめ

植えてはいけないグランドカバー8選

グランドカバーの中には、「植えなきゃよかった」「植えて後悔した」と言われるものがあります。

恐ろしいほどの繁殖力で、他の植物を駆逐する勢いがあるからです。

とは言っても、絶対に植えてはいけないというわけではありません。

繁殖力が強いことを知った上で、上手に付き合っていきたいグランドカバーです。

＼タップで読みたいところに飛べます／

- [ヒメイワダレソウ](#)
- [ワイヤープランツ](#)
- [クローバー](#)
- [ミント](#)
- [グレコマ](#)
- [ツルニチニチソウ](#)
- [ポリゴナム \(ヒメツルソバ\)](#)
- [アイビー](#)

ヒメイワダレソウ



ヒメイワダレソウはピンクの小さな花を咲かせます。

見た目が可愛らしいですが、あっという間に花壇や庭を覆いつくすほどの繁殖力があります。

雑草除けにもなりますが、あまりの繁殖力に雑草取りからヒメイワダレソウ取りに変わっていく事態になりかねません。

管理のコツ

ヒメイワダレソウをお庭で育てるポイントは…

- 踏みつける
- 刈り込む

この2つを行うことで、密度を濃くすることができます。

[ヒメイワダレソウを植えてはいけない理由](#)をこちらの記事で詳しく解説しています。

✓あわせて読みたい



ヒメイワダレソウが植えてはいけない理由は重点対策外来種だから！対処法も解説

ワイヤープランツ





ワイヤープランツはワイヤーのような細い茎に小さな葉っぱがたくさんついているオシャレな植物です。

こちらは根が深く生えていくので、取り除こうと思って根をはがしても、またしばらくしたら芽がたくさん出てきます。

また、葉っぱがワサワサと密集していて、周りに植えていた花も見えなくなるほど覆いつくしてしまいます。

管理のコツ

ワイヤープランツは鉢植えで育てるようにしましょう。

地植えは本当に危険！

[ワイヤープランツを植えてはいけない理由](#)をこちらの記事で詳しく解説しています。

✓ あわせて読みたい



ワイヤープランツの地植えは増えすぎるから危険！駆除するコツを解説

クローバー



クローバーは「幸せの四葉のクローバー」で知られていて公園などにも生えています。

可愛い葉っぱで自宅の庭にも欲しいと思って植えてしまうと、大変なことになります。

一度地面に植えてしまうと完全に取り除くのが難しく、少しでも根や茎が残っていると再び増えていきます。

管理のコツ

クローバーは、増え過ぎたらこまめに抜くようにします。

ミント

ミントは爽やかな香りでハーブティーなどにも使われ人気があります。

しかし、地植えにすると地中でどんどん根を張り巡らせ、抜いても抜いても生えてきます。

「ミントテロ」なんて言われることもあるほど…。

さらに問題なのが、ミントは病害虫が寄ってくるので、周りの植物にも病害虫が移ってしまう恐れがあります。

管理のコツ

ミントは絶対に鉢植えで育てるようにしましょう。

地植えは本当に危険！

グレコマ

[グレコマ](#)は小ぶりの葉っぱに斑が入った可愛い植物です。

こちらはツル性の植物なので、壁際などに植えると壁を伝ってどんどん上へ伸びていきます。

さらに年数が経つと壁の隙間に入り込み、取り除くのが難しくなってしまいます。

管理のコツ

グレコマは、地植えしないで、**寄せ植えにだけ使う**のがオススメ。

ツルニチニチソウ



ツルニチニチソウはキキョウに似た涼しげな紫色の花を咲かせるツル性の植物です。

こちらはツルが良く伸び、寒い時期や日陰でも育つ強い植物なので、他の植物が成長せず、ツルニチニチソウだけが育つことになってしまいます。



斑入りのツルニチニチソウは、花壇のアクセントにもなります。私は結構好きな植物です。

管理のコツ

ツルニチニチソウは、増えすぎたら抜きましょう。

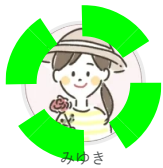
ポリゴナム (ヒメツルソバ)



ポリゴナムは小ぶりで可愛らしいピンクの花をたくさん咲かせる植物です。

見た目は綺麗ですが、繁殖力が強くどんどん増えて手に負えなくなってしまいます。

また、園芸店などで普通にグランドカバーとして売られているので注意しなければなりません。



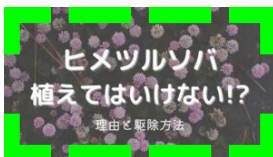
植えたら危険と言われていますが、私はポリゴナムが好きです。
コンペイトウみたいでかわいい！

管理のコツ

ポリゴナム（ヒメツルソバ）は、増えすぎたら抜きましょう。

[ヒメツルソバを植えてはいけない理由](#)をこちらの記事で詳しく解説しています。

✓あわせて読みたい



ヒメツルソバを植えてはいけない理由は繁殖力が強すぎるから！駆除方法は？

アイビー（ヘデラ）



アイビーはヘデラとも呼ばれるツル性の植物で、葉っぱの形や斑の模様がオシャレで人気があります。

鉢植えや寄せ植えなどにも多く取り入れられますが、地植えすると木や家の壁を覆いつくすほど成長していきます。

放っておくと後々取り除くのが難しくなってしまいます。

管理のコツ

アイビー（ヘデラ）は、増えすぎたら切ります。

壁に張り付いている場合は、どんどん剥がしましょう。

まとめ

今回は、植えてはいけないグランドカバーについてご紹介しました。

「初めは楽しめていたのに気づいたら手に負えなくなった」ということになりかねません。

グランドカバーを選ぶ際には気をつけてくださいね。

＼こちらの記事も読まれています／

✓ あわせて読みたい



日陰で育つグランドカバー！花が咲く・和風・湿気のある場所向けなど目的別に紹介

✓あわせて読みたい



植えてはいけない宿根草8選！実際に育てた感想を大暴露！

[「植えてはいけない記事一覧」に戻る](#)